
GOGO！風紀委員長

真嶋雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

GOGO!風紀委員長

【Nコード】

N6217D

【作者名】

真嶋雪

【あらすじ】

いけいけ!風紀委員長の運動会編です。以前のものを書き換えつつアップしていく所存です。

とてもアイスが美味しい日1

俺の心の中での「面倒くさい嫌だあんなもん出たくない運動会とか考えた人誰だよ」とかいう葛藤を他所に運動会までの時間は着々と憎たらしいまでに順調に短くなっていき、

「本日は天候にも恵まれ…」

なんていう校長の話が始まるくらいまでに経っていたのだ。つまりところ、今日は運動会当日で、俺の心なんか知らないとも言ってしまう(まあ知らないだろうけど)雲が「快晴」と呼べるほどにしか無いくらいの絶好の「運動会日和」になってしまったのだ。ああ暑い。

校長の話をみんなが「やすめ」の姿勢を保って静かに聞いている中、誰にも気付かれないように赤い鉢巻の下でため息をついた。…ああ、誰か俺を貧血常態にしてはくれないかな。せめて話を聞いている間だけで良いから保健室で休みたい。いやむしろだるいつてことで見学だけにしてもらいたい。

なんて俺のわがままなど誰も分かるはずもなく、結局俺は校長の話と来賓の人達の話と教頭の話とその他もろもろの人達の話を立てたまま聞かされる羽目になったのだ。…あ、教頭は座らせてくれたけどね。

「委員長！」

俺が保健室で寝ている間に決められた「放送係」の仕事を果たすべく、放送用テントに向かって足取り重く向かっていると、秋雨が走りよってきた。確かクラステントは逆方面だったはずだと思ったけど。

「はい逆ですよ。いえそうじゃなくて、委員長にこれを渡しに。まだ溶けてないですよ」

言われながら突き出された小さなビニール袋を受け取る。ひんやりとした空気が中から漏れてきた。もしや、と期待とともにビニール袋の中身を見ると、予想通りそこにはアイスが入っていた。俺が普段食べるような安いものではなく高級品だ。

「母からの差し入れなんです。委員会の人達につて。ああ秀にはもう渡しました」

「そう…ありがとうございます」

「いえ！喜んでいただけたなら私も嬉しいです！それじゃ、頑張ってくださいね！」

「うん。こちらこそ」

自分の待機するテントに向かって走っていった秋雨の背中を見送り、貰ったアイス入りのビニール袋をしっかりと握ってテントに向かった。早く食べたいと訴える喉はさっきまでちつとも気が付かなかったけれどカラカラで、秋雨はタイミングが良いと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6217d/>

GOGO！風紀委員長

2010年11月18日23時30分発行